

【研修報告】

令和7年度 第3回 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました

諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

『薬を飲めない、を考える』

令和7年12月4日(木) 19時～20時

講師：池田 理恵 様

こはく堂薬局 管理薬剤師



今回はこはく堂薬局管理薬剤師 池田理恵先生をお迎えし、『薬を飲めない』ということを臨床推論で考える研修会を開催しました。

臨床推論とは、患者の問題を明らかにするため、医療における「考え方・アプローチ」のことを言いますが、初めて聞いた方もいらっしゃるかもしれません。薬が飲めない患者・利用者の情報を様々な角度から集め、その情報をもとに、現在の状態（病態や問題点）を的確に把握し、最適なケアを導き出し、チームで介入する。その中でも情報収集に関しては、様々な方法をお話いただき、今後のアセスメントで活かせる内容だったと思います。認知機能の低下した方、薬識が乏しい方へのアプローチも、非常に興味深い内容でした。

今回もかけはしいさはやのホームページにて期間限定で YouTube 配信を行い、12名の方が視聴されました。今後も、できるだけ多くの方に参加していただけるような研修会を考えていきたいと思っています。

参加者の感想(一部抜粋)

- 毎日、薬を飲むことが意外と大変だと日々感じています。認知症で一人暮らしの方は、特に大変です。でも、今日のお話を聞き、生活の中やご本人の思いを聞いて、一つ一つ原因をみつけていこうと思いました。薬剤師の方へも色々質問してみようと思いました。
- 「薬が飲めない」を色々な側面からとらえ、飲めるためのアプローチを考えることは、介護の現場も通じるものがあると思いながら聞きました。よい学びになりました。
- 日頃から対応に困ることが多い事例で、具体的にどうしたら良いのかのヒントになる内容でした。今後に生かしていきたいと思っています。

次回は令和8年3月16日(月)19時から、諫早総合病院耳鼻咽喉科 山本昌和先生を講師にお迎えして、耳鼻咽喉科疾患に関する研修会を開催予定です。

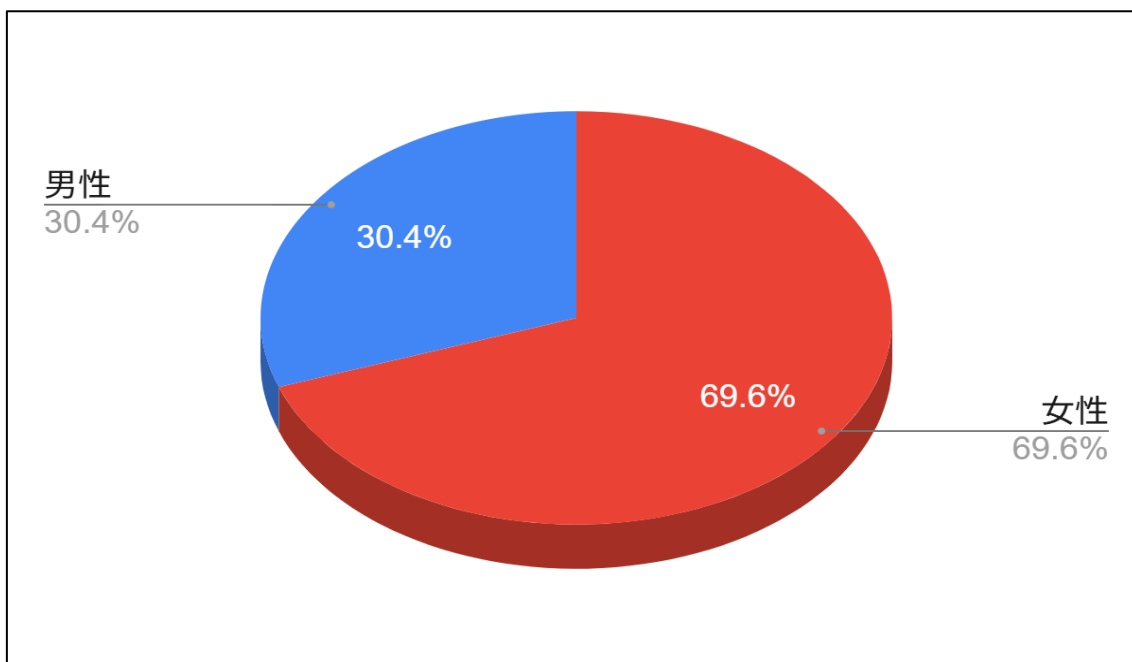
令和7年度 第3回在宅医療・介護関係者研修会

『薬を飲めない、を考える』アンケート結果

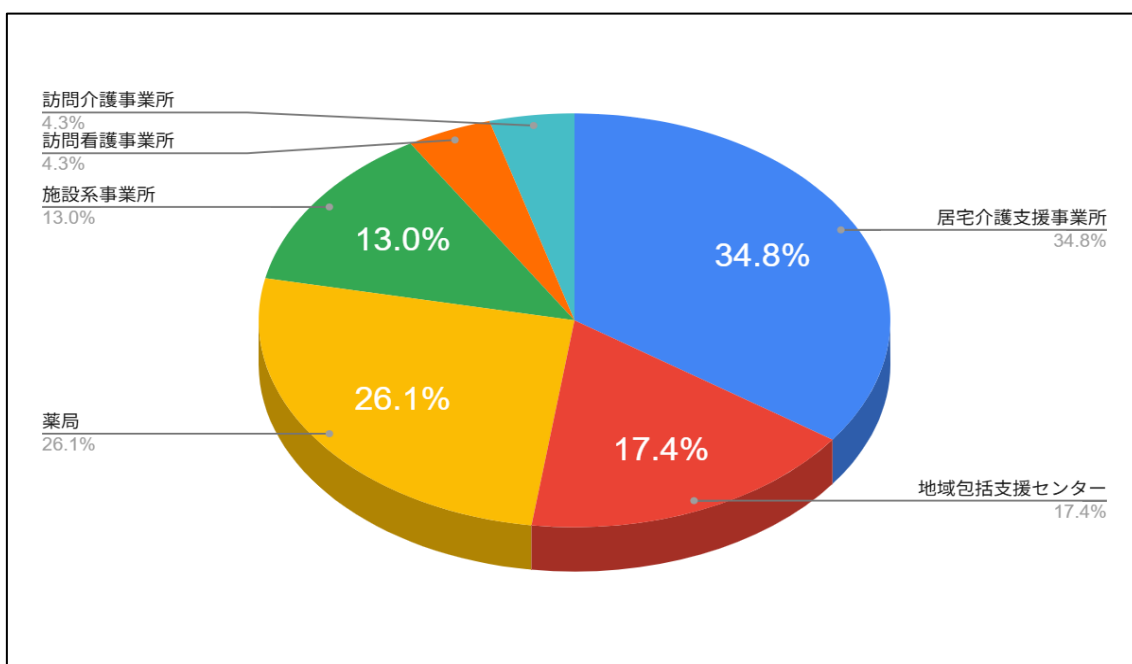


参加者：会場 23 名/動画 12 名 回答者数：23 名(66%)

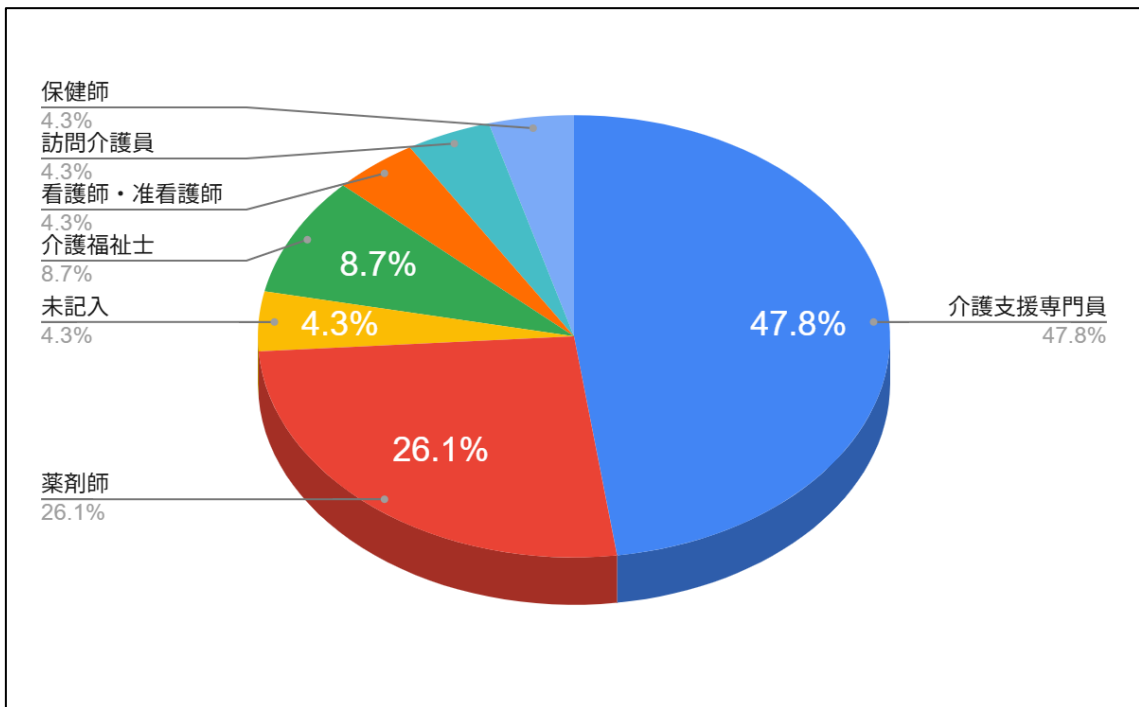
1. 性別（男性 7 名/女性 16 名）



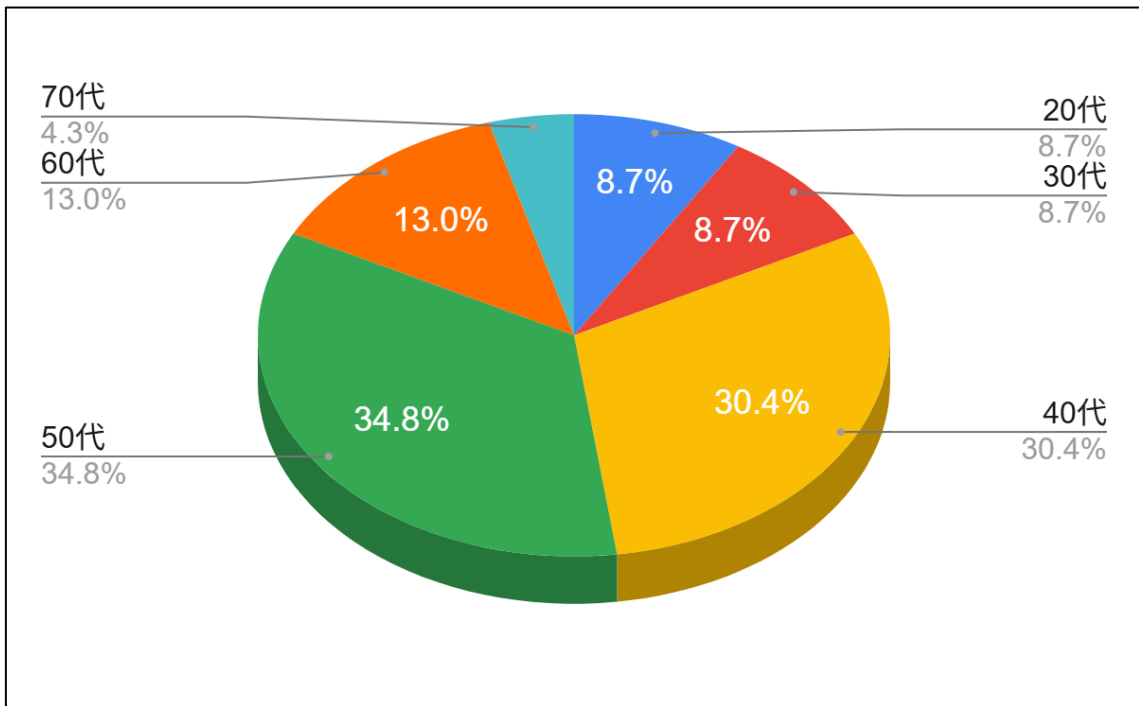
2. 所属



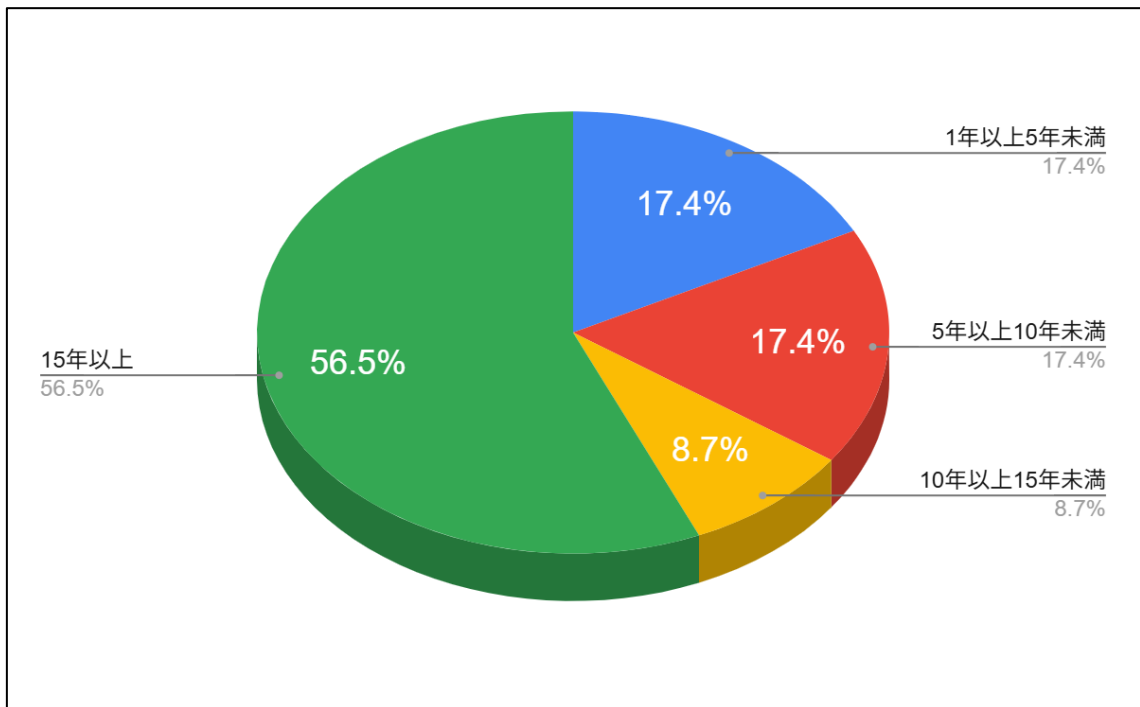
3. 職種



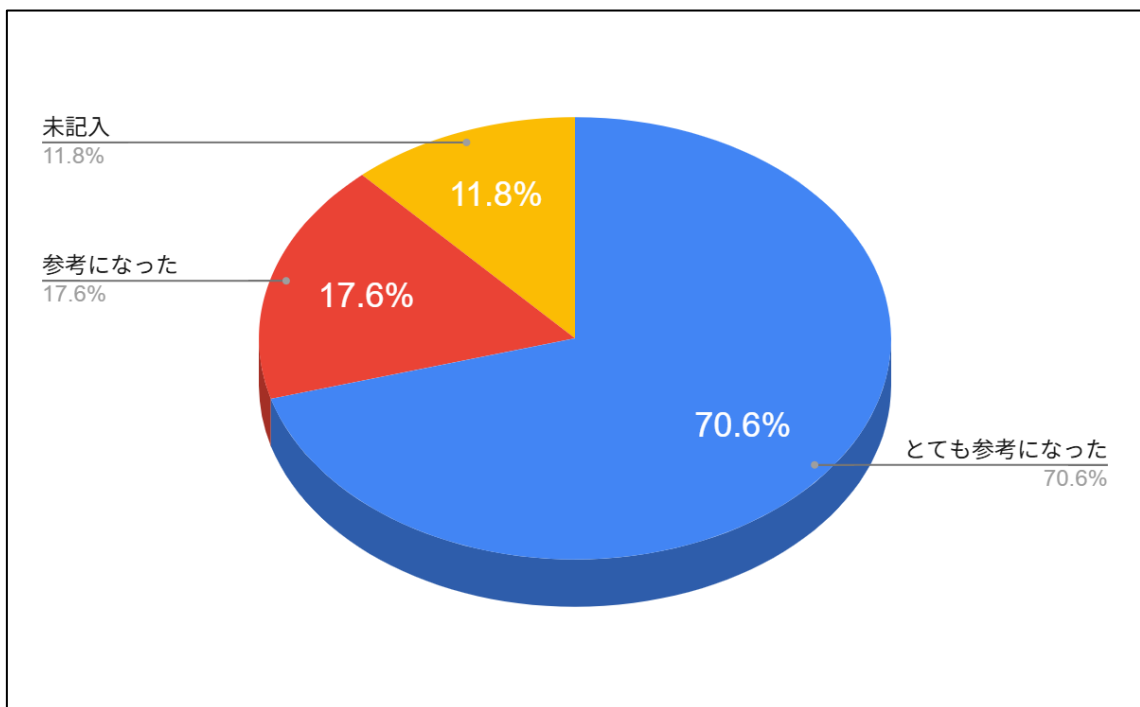
4. 年齢



5. 職場の経験年数



6. 本日の研修内容はいかがでしたか



7. 本日の研修の感想をご自由にお書きください。

- ・薬が服用できないと割形の変更や服用時間の変更をすぐ考えてしまいますが、飲めないということのもっと根底を考えていかなければならないということがわかりました。
- ・「薬が飲めない」を色々な側面からとらえ、飲めるためのアプローチを考えることは、介護の現場も通じるものがあると思いながら聞きました。よい学びになりました。
- ・薬を飲まない⇒原因を考える事の大切さや原因がある事が少し理解できたと思います。言葉がけ等（声かけ）、共感の必要性。
- ・日頃、担当利用者に関わる中で、「薬を飲まない」⇒認知症の進行と思われるケースが多いが、この研修で他にも色々な原因があることに改めて気づいた。原因を知るためには情報収集、アセスメントは大切である。その困り事を見える化して共有するためのツールがあることもわかった。服薬にも日内変動があることも改めて気づいた。よく高血圧、痛み止めを自己判断で中断している方がいて、Dr.に相談するように説明しても伝達されてなかったり、3回分⇒1回へ回数を減らすことを本人に提案してもそのままになっている方もいて、今後は薬剤師、Dr.へ積極的にケアマネより相談しようと思った。服薬支援の方法、声掛け、スティグマについても教えてもらい、日頃のケアマネジメントに活かしていきたいと思う。薬の説明書を確認する時も種類、回数の他にも副作用もしっかり確認していこうと思う。
- ・薬を飲めない状態を多角的な所見の必要性をわかりやすく指導していただきました。薬剤師としても個々の薬剤の副作用を再確認していこうと思います。
- ・表面的な言葉だけでなく背景を聞き取る。スモールステップ 心がけたいと思います。大変勉強になりました。
- ・本日の研修会ありがとうございました。様々な考えるツールを教えていただき、イメージしやすいようにお話いただき、とても勉強になりました。
- ・大切な服薬方法、錠剤の事など改めてわかる事ができて良かった。わからない事があったら、聞くことも大切と思う。
- ・スティグマ例は、今後のケアに活用できると思いました。ありがとうございました。ピルクラッシャー、ピルカッターが100円ショップで購入できることを初めて知りました。
- ・全人的にとらえていくことを改めて理解できた。その中で、専門職の知識も含め、協働していくことが大事であること。
- ・日頃から対応に困ることが多い事例で、具体的にどうしたら良いのかのヒントになる内容でした。今後に生かしていきたいと思います。
- ・わかりやすい研修でした。対応の point など参考になります。

- ・とてもわかりやすかった。情報収集の大切さは理解していたつもりだったが、服薬でもより詳しく収集することが必要だと思いました。実践していきたいと思います。
- ・毎日、薬を飲むことが意外と大変だと日々感じています。認知症で一人暮らしの方は、特に大変です。でも、今日のお話を聞き、生活の中やご本人の思いを聞いて、一つ一つ原因をみつけていこうと思いました。薬剤師の方へも色々質問してみようと思いました。ありがとうございました。
- ・言葉選び大切だと思っています。信頼関係を作ることによって深いかわりが出てきます。その一歩にコミュニケーションがあります。質問を聞いて皆さんも悩んでいる。私も悩みながら前にすすめたらと思いました。ありがとうございました。
- ・「薬をのまない」の背景にも様々な要因があることがわかった。実際に私の利用者様に胃薬を「これを飲めば逆流してくっさね。」と、いう方がおり、明日もっとちゃんと話を聞こうと思いました。
- ・大変勉強になりました。薬が飲めないアセスメントツールや考え方を学べ、今までのアセスから一歩進んだアセスができ、体調管理が行え、健康のための支援ができればと思います。ありがとうございました。
- ・本日の研修で、薬も生活（本人のライフスタイル）を把握することと勉強になりました。
- ・鎮痛剤や利尿剤など、内服薬に対する生活への支障について知ることができました。PHN が薬剤師さんと連携しながら、在宅で生活する人々を支えていけたらと思います。